

議員報酬 削減 議決 「取り下げ」！？

コロナ禍に伴い、市内経済の疲弊や雇用悪化、ボーナスカットが8割の医療機関で実施される一方、今年1月12日に開催された市議会議会運営委員会では議員報酬の『削減議決』取り下げの提案が行われ、採決の結果から、了承（賛成4（下段表参考）：流政会、市民クラブ、新生令和。反対2：共産・公明）となりました。

流山市議会では、議員による議決が取り下げられたのは史上初。全国的にも例は少なく、前代未聞・超法規的措置です。

議会運営委員会は、海老原功一委員長（自民）、近藤美保副委員長（流政会）、戸辺滋委員（公明）、藤井俊行委員（新生令和）、森田洋一委員（市民クラブ）、小田桐たかし委員（共産）で構成しています。

報酬削減の議決取り下げに賛同した会派・議員

会派	議員
流政会	渡辺 仁二
	野田 宏規
	近藤 美保
	大塚 洋一
	坂巻 儀一
	石原 修司
	笠原 久恵
	森 亮二
	青野 直
市民クラブ	西尾 段
	森田 洋一
	楠山 栄子
新生令和	菅野 浩考
	藤井 俊行

報酬削減…議決取り下げまでの経過

議員報酬の削減については、過去の経緯を踏まえ、議会運営委員会で協議してきました。昨年5月21日、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、市議会では、市へ「機動的な財政措置を含めた積極的な対策を」求めた経緯から、議会の取り組みの一つとして、報酬削減を議決（反対意見ナシ）。率・期間は継続協議となる。

5月26日、「R3年第1回定例会までに報酬削減を発議・上程する」ことについて、青野議長から議会運営委員会へ諮問があり、了承（反対意見ナシ）される。

9月1日、議会運営委員会にて、海老原委員長から各会派での意見集約を行う旨の依頼があり、了承（反対意見ナシ）される。

11月24日、報酬削減の条例改正の手続きに必要な率と期間の決定について、議長は再度依頼。質疑が行われる。日本共産党の質疑に対し、「自ら所属している流政会で協議を進めている」という議長発言に対し、同会派の森委

員より「協議が難しく、会派としては8月以降、協議は中止。削減協議を打ち切りたい。ただきたいという立場」「議長発言は誤り」と報告。事実関係が問われました。意見の不一致を踏まえ、委員長から会派での再協議の依頼があり、了承（反対意見ナシ）される。

今年1月12日、議会事務局は、「議会の議決取り下げの事例として、工事請負契約の相手先が倒産したことから議決を取り下げた他市議会の事例以外にはない」報告。しかし、「『報酬削減』の議決取り下げを」と森委員が提案し、質疑後、採決。賛成多数で取り下げが了承されました。



新型コロナ・ワクチン接種 第一報

情報共有の強化、安全性の確保、体制強化がカギ



日本共産党 流山市議会議員

小田 桐たかし

ワクチン接種に向けた第1弾です。集団接種に向けた方法や場所選定など詰めるべき課題は山積しています。コロナ禍を必ず乗り越えるために、ご協力をお願いします。何かあれば、お気軽にご連絡（小田 桐 090-8507-8850）ください。

時期	市の取り組み・ワクチン接種までの流れ
1月中旬	接種に向けた準備事務（各契約事務など） システム改修、接種券の印刷・発送、コールセンター など医師会・医療機関との調整、 超低温冷凍庫配置先調整など
2月上旬	新型コロナウイルスワクチン接種の 担当室を設置（予定）
中旬～	医療従事者への接種開始
3月中旬～	65歳以上の市民へ接種券を郵送、 コールセンターの設置
3月下旬～	65歳以上の市民への接種開始
4月下旬～	その他（64歳以下）市民へ接種券を順次郵送
5月上旬～	その他（64歳以下）市民への接種開始

ワクチン接種までの流れ（予定）

1月15日、流山市から市議会へ、新型コロナウイルスに対するワクチン接種の第1報が報告されましたので、お知らせします。
1月12日の議会運営委員会で、小田桐たかし委員（共産）がワクチン接種に向けた取り組みが他市でスタートし、流山市でも始まる可能性が高いことから、情報があれば早急な共有を図ることを正副議長及び議会運営委員会正副委員長へ申し入れをしていました。